

2024（令和6）年度

大学院総合医理工学研究科
（博士課程）

医学系専攻 保健学分野

[第2次募集]

学生募集要項

信州大学では、インターネットを利用した出願を実施しています。
出願方法等は、本学サイトを必ず確認してください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/01.php>

所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態（自然災害等）が発生し、志願者への緊急の連絡が必要となった場合は、ホームページでお知らせしますので、必ず最新の情報を確認してください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/sogoiriko/admission/medical-sciences/#hls>

信州大学

信州大学大学院受入れの方針

信州大学大学院は、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・社会・環境・国際問題に関心をもち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

総合医理工学研究科（博士課程）医学系専攻 保健学分野受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【求める学生像】

医学系専攻では、研究科及び専攻の教育目標に則り、次のような能力や意欲を備えた人を受け入れます。

1. 医学分野もしくは保健学分野における科学的、倫理的、独創的な観点に基づき、基礎的あるいは臨床的研究を通して、疾病の予防・治療、健康長寿、クオリティ・オブ・ライフの向上に寄与することに対して情熱を有する人
2. 高い倫理観と科学性、学際的な幅広い視野に立って、保健・医療・福祉の領域で高度専門医療職者としてリーダーシップをとることに意欲のある人

【入学者選抜の基本方針】

<保健学分野>

上記の素養を持つ学生を選抜するために、自身の研究成果を国際学会や英文雑誌を通して世界に発信するのに必要な基礎学力を民間の英語能力測定試験の成績により評価し、入学の目的や将来の志望に向けた熱意(態度)、および科学的思考と論理的な表現力を口述(面接)試験により評価します。

1. 専攻・分野・ユニット及び募集人員

専攻	分野	ユニット	学位	募集人員
医学系	保健学	母子保健学	博士 (保健学)	若干人
		成人保健学		
		老年保健学		
		医療生命科学		

2. 出願資格

医学系専攻保健学分野の出願資格を有する方は、看護師、助産師、保健師、臨床検査技師、理学療法士又は作業療法士等の資格を持ち、かつ、次の各号の一に該当する方とします。

- (1) 修士の学位若しくは専門職学位を有する方又は令和6年3月までに授与される見込みの方
- (2) 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された方又は令和6年3月までに授与される見込みの方
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された方又は令和6年3月までに授与される見込みの方
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された方又は令和6年3月までに修了し、授与される見込みの方
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された方
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた方
- (7) 文部科学大臣の指定した者《平成元年文部省告示第118号…【注】参照》
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた方で、令和6年3月31日までに24歳に達する方

【注】文部科学大臣の指定した者とは、次の各号のいずれかに該当する方です。

- 一 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- 二 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

日本の看護師、助産師、保健師、臨床検査技師、理学療法士又は作業療法士の資格を有しない方は、事前に入学資格審査を受けてください。

3. 入学資格審査

『2. 出願資格（6）～（8）』により出願しようとする方及び日本の看護師、助産師、保健師、臨床検査技師、理学療法士又は作業療法士の資格を有しない方は、事前に入試事務室（医学部大学院係）へ問い合わせのうえ、次の手続を行い、入学資格審査を受け、認定された後に出願してください。

- (1) 入学資格審査申請書類受付（持参もしくは郵送）

受付期間 令和5年10月23日（月）～10月27日（金）

（郵送の場合は簡易書留郵便とし、受付期間内に必着とする。）

受付時間 9時～17時

提出先 信州大学大学院医学系研究科入試事務室（医学部大学院係）
〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

(2) 申請書類（※印は本分野所定の用紙）

①出願資格（7）に該当する方

※入学資格審査申請書（様式8）	必要事項を記入してください。
※志望理由書（様式2）	本分野を志望する理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
※研究歴証明書（様式9）	大学、研究所等において研究に従事した期間を証明するもの
※研究業績目録（様式10）	著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等があれば別刷り又は証明できる書類のコピーを添付してください。
最終学歴に関する証明書	出身大学の卒業証明書及び成績証明書（厳封したもの）

②出願資格（6）、（8）に該当する方、日本の看護師、助産師、保健師、臨床検査技師、理学療法士又は作業療法士の資格を有しない方

※入学資格審査申請書（様式7）	必要事項を記入してください。
※志望理由書（様式2）	本分野を志望する理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
在職期間等の証明書	在職期間及び職種について、勤務先の所属長が作成したもの（様式任意）
※研究業績目録（様式10）	著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等があれば別刷り又は証明できる書類のコピーを添付してください。
学修に関する資料	出身大学（及び大学院）のカリキュラムが確認できるもの
最終学歴に関する証明書	出身大学（及び大学院）の卒業（修了）証明書及び成績証明書（厳封したもの） 出願資格（6）に該当する方は、合格証明書（当該審査における合格基準等の資料を含み、出身大学が作成したもの）

(3) 資格審査

入学資格審査は、提出された申請書類における職歴、研究歴、研究業績等を総合的に勘案して行います。

(4) 結果通知

審査の結果は、令和5年11月2日（木）に本人あてに通知書を送付します。入学資格を認定された方は、出願手続を行ってください。

4. 出願手続

(1) 出願受付期間

令和5年11月6日（月）～17日（金）

・持参の場合

受付時間 9時～17時（ただし、土曜日及び日曜日は受け付けません。）

・郵送の場合

簡易書留郵便とし、出願期間内に必着とする。

(2) 出願書類等提出先

信州大学大学院医学系研究科入試事務室（医学部大学院係）

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

(3) 出願方法

次の①から③までの手続を行ってください。

インターネット出願登録サイトへの事前登録及び検定料の支払いは出願期間の一週間前から可能です。また、インターネット出願登録サイトへの登録だけでは、出願は完了しません。出願期間内に必要書類を提出することで完了します。

① インターネットによる出願情報の登録（顔写真のアップロードを含む。）

※ インターネット出願の詳細については、「12. インターネット出願について」を参照してください。

② 入学検定料の支払い

入学検定料 30,000円

支払期間 令和5年10月30日（月）～11月17日（金）

- ・入学検定料の他に、別途必要な支払手数料は、志願者負担となります。
- ・銀行窓口での支払いはできません。
- ・コンビニエンスストアに設置されているATMでの支払いはできません。
- ・コンビニエンスストアでの支払いは現金のみです。電子マネーやクレジットカードは利用できません。

③ 出願書類等の提出（持参もしくは郵送）

出願確認票をインターネット出願登録サイトから印刷し、必要書類（「(4) 出願書類等」を参照）とともに市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に入れ、出願受付期間内に提出してください。

入試事務室に持参もしくは出願登録サイトから印刷した宛名シートを封筒に貼り付け、簡易書留速達郵便で郵送してください。

※ 「3 入学資格審査」で、個別の入学資格審査により「入学資格認定書」の交付を受けた方は、そのコピーを添付してください。

(4) 出願書類等（※印は本分野所定の用紙）

① インターネット出願登録後、マイページから印刷する書類等

※ 印字されている内容に誤りがないか、必ず確認してください。内容に誤りがある場合は朱書きで訂正し提出してください。

出願書類等	書類の説明
出願確認票	A4 サイズの用紙に印刷してください（白黒印刷可）。
宛名シート 【郵送の場合のみ】	印刷したものを市販の角形2号封筒（240 mm×332 mm）に貼り付け、出願書類を入れて郵送してください。

② 出願登録サイトでアップロードが必要なもの（郵送による提出不要）

出願書類等	書類の説明
写真	写真データ（ファイル形式(jpeg、jpg、png、bmp)、データ容量10MBまで）を用意してください。 出願登録サイトで志願者本人の顔写真（出願3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、背景なしのもの）のアップロードを行ってください。 不鮮明なもの、背景が暗いもの、画像に加工を施しているもの等は使用できません。

③ 本専攻のWEBサイトからダウンロード・印刷して準備する書類

出願書類等	書類の説明
履歴書（様式1）	高等学校卒業から現在に至る経歴（国家試験合格を含む。）を年次に従い、もれなく記入してください。
志望理由書（様式2）	本研究科を志望する理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
受験承諾書（様式3）	事前に志望する分野・領域の担当教員に連絡をとり、承諾を得て作成したもの
受験及び修学承諾書（様式4）	入学後も引き続き勤務する所属組織がある場合は、所属の長が作成したもの
外国人留学生申請書（様式5）	外国人志願者のみ提出してください。
宛名票（様式6）	合格通知書等の送付先を記入してください。
面接試験方法選択票（様式7）	希望する面接試験の方法（会場での対面面接、もしくはオンライン面接）を選択してください。

④ 志願者自身が準備する書類

出願書類等	書類の説明
卒業証明書	出身大学の学部の卒業証明書（本学医学部卒業者は不要）
修士（博士前期）課程 修了（見込）証明書	出身大学院の修了（見込）証明書（本学医学系研究科修了（見込）者は不要）
成績証明書（大学）	出身大学の学部の成績証明書（厳封されたもの。本学医学部卒業者は不要）
成績証明書（大学院）	出身大学院の修士（博士前期）課程の成績証明書（厳封されたもの。本学医学系研究科修了（見込）者は不要）
TOEFL iBT のスコア	Test Taker Score Report（受験者控えスコア表）を提出してください。My Best Score の提出を認めます。試験日から遡って2年以内のスコアに限ります。 原本の提出が出願期間内に間に合わない場合は、PDFを印刷したもので出願を可能としますが、後日原本を提出してください。
住民票の写し 又は パスポートのコピー	外国人志願者のみ提出してください。現に日本国に在住し、かつ、「在留カード」又は「外国人登録証明書」をお持ちの方は、「住民票の写し」（居住している市区町村長が発行するもの）1通を提出してください。 それ以外の方は、「パスポート」のコピー（氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国査証の部分）を提出してください。

(5) 受験票

受験票は、受験番号確定後にインターネット出願登録サイトのマイページからダウンロードできます。出願登録サイトで登録したメールアドレスへ「受験番号お知らせメール」を送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。(白黒印刷可)

なお、印刷した**受験票は、試験当日に必ず持参**してください。

また、「受験番号お知らせメール」に記載の URL から<受験者心得>にアクセスし、該当する研究科・専攻の注意事項を印刷・熟読してください。

※ 「受験番号お知らせメール」が試験日の1週間前になっても届かない場合は、速やかに入試事務室（出願書類提出先）にお問い合わせください。

5. 選抜方法等

入学者の選抜は、外国語（英語）試験の成績（TOEFL iBT のスコア）、面接試問の結果及び出願書類等を総合して行います。

試験日時・場所

【面接】

下記の日程で、本学を会場にした対面の面接試験、もしくは Zoom によるオンライン面接を実施します。

期日	時間	試験科目等	試験場
令和5年 12月16日（土）	10：00～※	面接試問	信州大学医学部 保健学科

※ 面接開始時刻は、出願者数等により変更することがあります。受験者心得を確認してください。

※ オンライン面接を選択した場合は、事前接続テスト、試験開始時間及び実施方法の詳細は出願受付後、出願時に登録したメールアドレスあてに連絡します。

6. 合格発表

令和6年1月11日（木） 10時

信州大学大学院総合医理工学研究科ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、同日中に合格者に対し合格通知書を発送し、公式発表とします。

なお、電話やメール等での合否の問い合わせには応じられません。

7. 入学手続

合格者は、次により入学手続を行ってください。なお、詳細については合格通知書に同封してお知らせいたします。

(1) 入学手続期間（持参もしくは郵送）

令和6年1月15日（月）～1月23日（火）

（郵送の場合は簡易書留郵便とし、受付期間内に必着とする。）

受付時間 9時～17時（ただし、土曜日及び日曜日は受け付けません。）

(2) 入学手続場所

信州大学大学院総合医理工学研究科入試事務室（医学部大学院係）

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

(3) 入学料の納入等

- ①銀行振込により所定の入学料を納入してください。
- ②既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。
- ③入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度及び徴収猶予制度があります。

(4) 手続に当たっての注意事項

入学手続締切り期日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものととして取り扱います。

8. 追加合格

本研究科医学系専攻医学分野の募集（第2、3次募集を実施する場合はその最後の募集）の出願締切り以降、入学希望者が医学系専攻の入学定員に満たないと判断される場合、追加合格を行うことがあります。

追加合格を実施する場合、総合医理工学研究科のホームページにて追加合格の実施についてお知らせするとともに、追加合格者には、3月31日までの間に、出願書類に記載されている「受信場所（志願者連絡先）」へ電話により直接連絡しますので、受験者本人に連絡がとれるようにしておいてください。

なお、就職等の手続きを既に行った方は必ず、令和6年4月以降に勤務する機関に、本学大学院への修学の承諾を得るようにしてください。

なお、本学からの連絡の際、再度にわたる電話連絡にも関わらず、追加合格候補者が不在等のため、本人の意思確認ができなかった場合や、すみやかに意思を表明しなかった場合は、入学の意志がないものとして取り扱うことがあります。

9. 障害等のある方の事前相談

この募集要項により本研究科に入学を志願する方で、障害等のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前に、書面により相談してください。

なお、重度の障害等のある方は、できる限り早い時期に相談してください。

詳しくは、本学のホームページ（入試情報ポータル／障害等のある方の事前相談：https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/consultation/index.html）をご覧ください。

(1) 提出期限 入学資格審査受付期間初日17時までに必着

(2) 提出先（持参もしくは郵送）

信州大学大学院医学系研究科入試事務室（医学部大学院係）

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

(3) 提出期限後の不慮の事故等による場合の配慮

提出期限後に不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、その際にご相談ください。

10. 注意事項

(1) 本分野に入学を希望する方は、あらかじめ志望するユニットの担当教員と研究内容等について相談のうえ、出願してください。

(2) 受理した出願書類及び検定料は、どのような理由があってもお返しできません。また、提出後の記入事項の変更は認めません。なお、検定料を誤って二重に支払った場合又は支払ったが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により支払われた検定料（二重に支払った場合は重複して支払わ

れた分)の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ(入試情報ポータル/入学検定料返還手続 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/return/index.html)をご覧ください。

- (3) 出願手続後、現住所又は緊急連絡先に変更が生じたときは、速やかに入試事務室(医学部大学院係)に連絡してください。

11. 不正行為

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできません。また、すでに受験した民間の英語能力測定試験及び面接試験の成績も無効となります。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

ア インターネット出願登録サイトや出願書類等へ故意に虚偽の登録・記入(本人以外の写真を使用する、民間の英語能力測定試験の成績を改ざんするなど)をすること。

イ 面接試験で虚偽の回答をすること。

ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

エ 面接試験中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。

※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。(面接試験中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。

(「9. 障害等のある方の事前相談」を参照))

- (2) 上記(1)以外にも次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、上記(1)と同様です。

ア 面接試験中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、使用を許可されたもの以外の用具、教科書、参考書、辞書等の書籍類等をかばん等にしまわず、身に付けたりに手に持っていること。

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信、アラーム、振動音など)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。

カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

12. インターネット出願について

インターネット出願登録サイトでは、出願登録のほか、受験票、出願確認票等の印刷なども行います。登録後にアクセスする必要がありますので、登録したメールアドレスとパスワードを記録しておいてください。インターネット出願の流れは次のとおりです。

(本学ホームページ大学院トップ/入試情報/インターネット出願・Internet Application <https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/01.php>)

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書など
詳細は学生募集要項参照



STEP

2

インターネット出願登録サイトにアクセス

インターネット出願登録サイト ▶

<https://e-apply.jp/ds/shinshu-u-grad/>

または、

大学ホームページ (大学院インターネット出願) ▶

<https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/01.php>

からアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた「初期パスワード」にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
「**マイページへ**」を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、「**出願手続きを行う**」ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので「**ログアウト**」ボタンをおしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
「**出願手続きを行う**」ボタン
から登録画面へ

②研究科・専攻の選択

③入試選択と留意事項の確認

④志望先情報の選択



⑤顔写真のアップロード
「**写真選択へ**」ボタンをクリックし
写真を選択します。

⑥個人情報(氏名・住所等)の
入力

⑦出願内容の確認
「**出願確認(サンプル)**」ボタンを
クリックすると出願確認が確認でき
ます。

⑧申込登録完了
「**引き寄せ支払う**」ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード

⑩出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控え、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 メモ(13桁)												
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ(11桁)										
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ(11桁)										
確認番号 メモ(6桁)										
収納機関番号 (5桁)	5	8	0	2	1					

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5

入学検定料の支払い

※海外在住の方はクレジットカードのみでの支払いとなります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されている必要があります

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

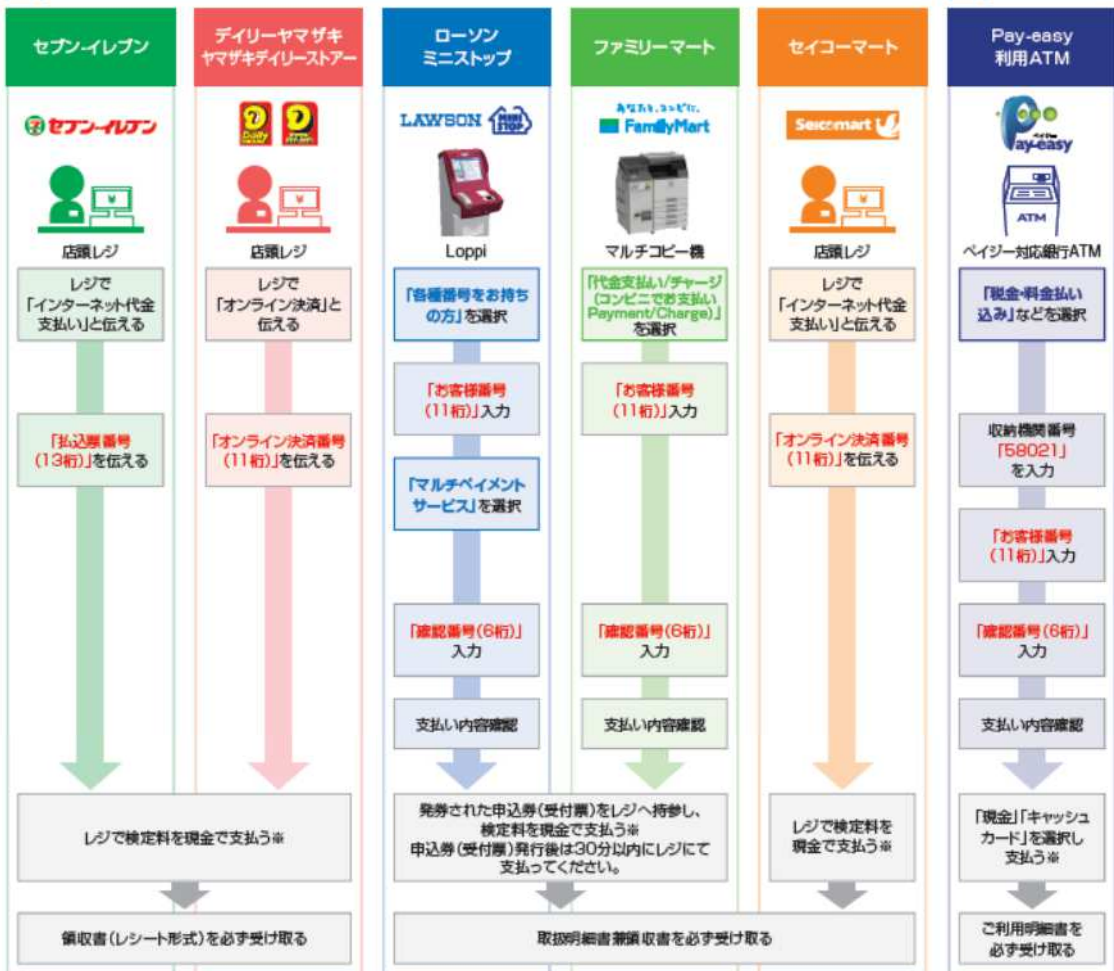


※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

4 銀行ATM



※ゆうちょ銀行/銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。
※画面ボタンのデザインや支払い手順などは予告なく変更となる場合があります。

STEP

6

出願書類等の印刷と郵送 **登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。**

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。



「出願確認票」の印刷方法



- マイページに表示された **出願確認票(印刷)** のボタンをクリックしてください。
- お支払いが正常に完了すると **出願確認票(印刷)** のボタンをクリックできるようになり出願確認票の出力ができます。

■ 出願書類

詳細は学生募集要項を確認してください。

※出願受理した入学検定料・出願書類等は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願登録サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。出願登録、検定料の支払い、出願書類の郵送は学生募集要項で定められた期間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。

必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

なお、メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で印刷をして試験当日に持参してください。

また、このメールに記載のURLから<受験者心得>にアクセスし、該当する研究科・専攻の注意事項を印刷・熟読してください。

【受験票の印刷に関する注意事項】

必ずA4用紙に**片面印刷**をしてください。(白黒印刷可)

印刷用紙はA4サイズ縦・両面無地・白の用紙を使用してください。



総合医理工学研究科（博士課程）医学系専攻保健学分野 入学案内

1. 標準修業年限 3年 ※

※【長期にわたる履修制度】

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは、最長で6年間、その計画的な履修が認められることがあります。

2. 履修方法・修了要件

本分野において3年以上在学し、研究科共通科目2単位（必修）、専攻共通科目4単位（必修2単位、選択必修2単位）、分野共通科目2単位（必修）、専門科目10単位（必修8単位、選択必修2単位）の合計18単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

3. 授与される学位

博士（保健学）の学位が授与されます。

4. 入学料・授業料

入学料 282,000円 授業料（前期）267,900円（後期）267,900円

金額は令和5年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封しお知らせします。

なお、本学の大学院修士課程を修了し引き続き博士課程に進学する方は、入学料を納付する必要はありません。

5. 奨学金

大学院学生を対象とした日本学生支援機構による奨学金制度があります。

貸与金額、申請手続き等の詳細は、日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/index.html>)

6. 博士学生の支援プログラムについて

信州大学では、優秀な博士課程学生を支援する奨学金プログラムを実施しています。

- ・信州産学共創フェローシップ（科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業）

- ・次世代高度人材『地域発志士』育成プログラム（次世代研究者挑戦的研究プログラム）

本プログラムは、国の政策による予算により実施しています。2024年4月以降は制度が変更されるため、プログラム学生の募集は現時点では未定です。

なお、2024年4月から、新たな事業による継続が検討されています。本学は、博士学生への支援を継続的に行うために、新たな事業による学生の支援の継続を目指しています。

継続する場合の、プログラム学生の募集については、Webサイトで周知します。適宜、Webサイトを確認するようにしてください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/sogoiriko/information/>

総合医理工学研究科（博士課程）医学系専攻保健学分野 研究案内

※ 各メールアドレスの後の「shinshu-u. ac. jp」を省略してあります。

専攻	分野	ユニット	担当教員 メールアドレス	内容		
医学系	保健学	母子保健学	金井 誠 makotok@	[専門領域] 周産期医学、地域医療、臨床遺伝 [研究内容] 妊娠高血圧の病態解明と発症予知に関する研究、早産回避の治療に関する研究、地域における産科医療提供体制維持に関する研究、出生前診断に関する研究		
			中込 さと子 snakagomi@	[専門領域] 母性看護学・遺伝看護学 [研究内容] セクシャルリプロダクティブヘルス・ライツ、社会的ハイリスク妊娠に関するケア・ソーシャルサポート・システムに関する研究。遺伝情報に基づくゲノム医療における看護など		
			中山 佳子 ynaka@	[専門領域] 小児科学、小児消化器病学 [研究内容] 小児期の消化管疾患の内視鏡検査等による診断・治療に関する研究、過敏性腸症候群の Low FODMAP diet 療法、移行医療（トランジション）支援に関する研究など		
			玉井 真理子 mtamai@	[専門領域] 臨床心理学、生命倫理学 [研究内容] 周産期における親子関係構築に対する心理的援助、遺伝医療における臨床心理学的介入の実際、出生前診断と中絶をめぐる生命倫理、重症新生児の選択的治療停止問題と生命倫理、ニューロエシックス、ほか生命科学技術関連の倫理問題全般		
	成人保健学		木村 貞治 tkimura@	[専門領域] スポーツ理学療法、運動学習、虚弱高齢者の運動指導 [研究内容] スポーツ選手に対するスポーツ理学療法の介入効果に関する研究や、その背景にある神経生理学的特性の変化についての研究を行っている。運動学習では、脳の機能的特性に基づいた理学療法の方略についての検討を行っている。虚弱高齢者の運動指導では、継続的な運動指導の在り方やその効果についての研究を行っている。		
			百瀬 公人 kmomose@	[専門領域] 運動学、呼吸循環の理学療法、急性期の理学療法 [研究内容] 1) 3次元動作解析装置、筋電図、床反力計、加速度計などを用いた健常者および障害者の動作解析、2) 呼吸・循環器障害の治療における理学療法とその効果、3) 中枢神経系疾患における急性期の理学療法のありかた、4) 理学療法の評価法などに関する研究を行っている。		
			小林 正義 mkobaya@	[専門領域] 精神障害作業療法学、精神障害リハビリテーション学、認知行動科学 [研究内容] 1) 精神障害の早期リハビリテーション・早期作業療法・地域生活支援技術に関する研究、2) 統合失調症とうつ病の認知行動療法に関する研究、3) 自動車運転技能に関連する認知行動評価に関する研究、などを行っている。		
			池上 俊彦 tikegami@	[専門領域] 外科学、地域医療 [研究内容] 肝移植を受けた患者におけるQOL改善のための研究や病診連携・病病連携に関する研究		
			伊澤 淳 izawa611@	[専門領域] 循環器内科学：動脈硬化、心不全、高血圧 [研究内容] 心血管疾患の発症予防（一次予防）、地域の自治体および医師会との連携による疫学研究；青少年の生活習慣病予防、歯周疾患と全身疾患の関連について		
			下里 誠二 sshimos@	[専門領域] 精神看護学 [研究内容] 精神科における攻撃的行動とそのケアに関する研究、精神障害者のリハビリテーションとその看護に関する研究を行っている。主として当事者との共同創造による安全・安心のための包括的暴力防止プログラムについて研究している。		

医学系	保健学	成人保健学	新井 清美 k_arai@	[専門領域] 成人看護学、アディクション [研究内容] 大学生や一般成人、アスリート等のアディクションのリスクを調査し、対象やリスクレベルに応じたアセスメントツールの開発に取り組んでいる。また、人の特性や習慣に応じた行動変容のための予防的アプローチとその評価を行っている。成人看護の対象となる人々の支援を検討するため、質的・量的研究手法を用いた研究に取り組んでいる。
			浅野 美礼 millet@	[専門領域] 基礎看護学、看護理工学 [研究内容] ベッドサイドにおけるケア技術の改良に関する研究、情報システムに実装する看護情報のあり方に関する研究、遠隔看護に資する生理学的指標の取得に関する研究
			西澤 公美 hitnishi@	[専門領域] 神経筋疾患、小児の理学療法 [研究内容] 筋ジストロフィー児が安全に行える上限運動量やeスポーツの効果に関する研究、COVID-19後の運動機能の変化について研究を行っている。また、長野県や長野市と連携しデジタル技術を用いたオンラインリハビリテーション関連の研究も行っている。
			小宅 一彰 k_oyake@	[専門領域] 運動生理学、リハビリテーション心理学、神経疾患に対する理学療法 [研究内容] 運動耐容能の低下や起立性低血圧等、運動や姿勢変化に対する循環応答の問題に着目したリハビリテーション戦略の開発研究を行っている。また、リハビリテーションにおける動機づけについて、エビデンスの構築と社会実装を目指した研究に取り組んでいる。
	老年保健学		上村 智子 tkamimu@	[専門領域] 作業療法学、生活支援科学、高齢者のリハビリテーション [研究内容] 脳卒中や認知症疾患などの加齢性疾患を有する人のリハビリテーションプログラムの開発と標準化の研究を行っている。研究対象は福祉用具や住宅改修と動作学習を組み合わせたプログラムとプログラムの成果評価の開発である。入院・入所から在宅へのスムーズな移行と在宅生活の継続を促すシステム構築に資する研究を行う。
			會田 信子 aida@	[専門領域] 老年看護学 [研究内容] 1) 高齢者ケア実践・技術に関する研究、2) 高齢者ケアに従事するスタッフの心理・社会的課題に関する研究、3) 老年看護学における教育方法や課題に関する研究、4) 多職種連携教育の方法論と評価に関する研究
			杉山 暢宏 nsugi@	[専門領域] 精神医学、神経内分泌学、性差医学 [研究内容] うつ病、躁うつ病の発症メカニズムを、神経内分泌学的な視点から研究している。特に女性ホルモンの神経系への作用に注目して、医学部精神医学教室や医学部附属病院精神科と共同で検討している。
			横川 吉晴 fhakuba@	[専門領域] 健康科学、公衆衛生学、高齢者に対する理学療法 [研究内容] 高齢者の障害の発生の遅延、活動能力の保持を目的として、農村部を対象として縦断的に調査、介入を行い、その評価の研究を行っている。特に転倒予防プログラム、筋力向上トレーニング、認知機能維持向上のための二重課題運動プログラムをテーマに活動している。
			務臺 均 hitmutai@	[専門領域] 身体障害・老年期作業療法学 [研究内容] 高齢者の訪問リハによる生活行為向上について、高齢者の介護予防について、脳卒中患者の麻痺側上肢および非麻痺側上肢の生活場面での使用について研究を行っている。
			佐賀里 昭 sagaria@	[専門領域] 作業療法学、がん作業療法、自動車運転等 [研究内容] がん作業療法のエビデンス構築に向けた研究。視線計測付ドライビングシミュレータ開発研究。この他、介護保険分野の研究などを行っている。
	医療生命科学	太田 浩良 hohta@	[専門領域] 診断病理学（消化管病理）、組織化学 [研究内容] ヘリコバクター感染により惹起される消化管粘膜病変の病態解析および消化管粘膜への分化を示す腫瘍（胃腸型腫瘍）の組織発生と診断について、組織化学的方法論を中心に、分子生物学的な方法論等も取り入れ研究を行っている。	

医学系	保健学	医療生命科学	寺田 信生 nobuot@	[専門領域] 蛋白複合体からみた生体の構造解析;解剖学-組織学-細胞生物学 [研究内容] 細胞の接着やシグナル伝達に関わる、細胞膜内～膜骨格における構成蛋白を同定する。それら蛋白複合体の、生体機能を反映した局在や蛋白間の相互関係さらに個体レベルでの機能を検討しながら、人体における役割を明らかにする。そのために形態学・細胞組織化学・生化学・分子細胞生物学の基本的な手技を修得して自由に使えるようにし、さらに顕微鏡によって可視化する解析法の開発も行う。
			石田 文宏 fumishi@	[専門領域] 血液学、血液検査学 [研究内容] 血液腫瘍性疾患、特に悪性リンパ腫を対象に、遺伝子異常と臨床病態の関連を明らかにするための研究を行っている。また、血液細胞形態や血栓止血領域での新規検査法開発を目指した研究を行っている。
			矢崎 正英 mayazaki@	[専門領域] 神経内科学、代謝学、蛋白化学 [研究内容] アミロイドーシスの新規診断法開発。微小生検組織からのアミロイド蛋白の解析法の確立と病態解析への応用。
			松田 和之 kmatsuda@	[専門領域] 遺伝子・染色体検査学 [研究内容] 1) 遺伝子変異・SNP を標的とした定量 PCR 法を用いて、病原体の鑑別や腫瘍細胞の量的変化のモニタリングなどの臨床応用を行っている。2) 遺伝子改変技術を用いて白血病や線維症などの難治性疾患について発症や病勢進行のメカニズムを明らかにし、病態を把握できる新規マーカーの探索を行っている。
			安尾 将法 yasumasa@	[専門領域] 呼吸器内科学、COPD、喘息、呼吸器内視鏡診断・治療 [研究内容] 1) COPD 患者検体を使用した分子生物学的研究(炎症、アポトーシスなど)。2) 喘息・COPD 患者の呼吸機能や画像に関する臨床研究。3) 呼吸器内視鏡(気管支鏡)を用いた診断技術や治療技術の開発。
			山内 一由 yamauchi@	[専門領域] 臨床化学検査学 [研究内容] 動脈硬化症やアルツハイマー病の発症および病変形成におけるアポリポ蛋白 E の翻訳後修飾、特に酸化修飾の病態生理学的意義を明らかにするため、臨床化学的手法および分子生物学的的手法を用いて研究を行っている。
			松本 竹久 tmatsumoto@	[専門領域] 臨床微生物検査学 [研究内容] 1) 臨床検体から分離された栄養要求性変異型細菌の原因解析とその病原性に関する研究、2) 難培養性ヘリコバクターに対する検査方法に関する研究、3) 病原細菌の病原因子や薬剤耐性因子に関する研究など。
			青木 薫 kin29men@	[専門領域] 整形外科学、リハビリテーション医学、骨軟部腫瘍医学、バイオマテリアル開発 [研究内容] 1) 整形外科・リハビリテーション・骨軟部腫瘍の臨床研究、2) 骨軟部腫瘍の治療法の開発、評価、3) 整形外科領域新規バイオマテリアルの開発、生体安全性評価などについての研究を行っている。
			木村 文一 kimura_f@	[専門領域] 細胞周期関連タンパク、細胞増殖因子、画像解析技術(テキスト解析、機械学習) [研究内容] 悪性腫瘍や前癌病変などの病理組織・細胞診標本に対して、発癌や予後に関与するタンパク質のメカニズムを、免疫組織・細胞化学や遺伝子および AI 技術を用いて解き明かすそうとする研究を行なっている。
樋口 由美子 sasa0922@	[専門領域] 免疫検査学 [研究内容] 1) 好中球 Netosis を臨床検査で検出できるように新規検査法を開発している。2) 血液疾患における病態発症のメカニズムを解明するために、iPS 技術を用いて免疫学的観点から研究を行っている。			

この募集要項に関する照会先

信州大学大学院総合医理工学研究科入試事務室（医学部大学院係）

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

TEL 0263 (37) 3376 (直通)

FAX 0263 (37) 3080

E-mail mdaigak@shinshu-u.ac.jp

信州大学大学院総合医理工学研究科ホームページ

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/sogoiriko/>

※個人情報の利用について

信州大学における入学試験を通して取得した個人情報については、入学試験のほか次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。